

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球 首脳、政府高官）Ⅷ

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-21 キーワード (Ja): 椎名, 三木, 外務大臣, 太田, 松岡, 屋良, 主席, 堀総務副長官, ランパート高等弁務官, 屋良主席, 愛知外務大臣に対する要請書 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191

29
8
17

推名外相・大田行政主席

大臣秘書官 秋

事務次官

外務審議官

官房長

AUG. 24, 1964

アメリカ局長

参事官

北次課長

(39. 8. 20)
北次課

琉球政府大田行政主席の椎名外務大臣
訪由会談要旨

同席 アメリカ局長 枝村事務官
大田昌和 (琉球政府 外務局長) 久手堅稔 (参事官)

8月17日午後2時、琉球政府大田行政主席は
椎名外務大臣を来訪会談した。会談
要旨、次のとおり。

大田行政^主席 — 沖縄のニヒラツヒは

いろく 御世話にもなり。また、御心配を

GA-5

外務省
4598

かけて恐縮している。

1957年6月の

大統領行政命令で琉球政府の設置が規定

され、又池田訪米の結果、1962年3月

ケネディー声明が発表されたが、~~それ~~

私の
二の行政命令とケネディー声明とを比べ

して、~~それ~~沖縄の施政にあつてきた。

私が主席になつてからは、朝から晩まで

「即時復帰」のおたいもくとおなえること

に終始していたが、私が主席になつてから

は、より現実的に日米^米協調に基く

GA-6

外務省

自治権拡大という線を出し、今後とも

この線に進む所存である。一般に、

ケネディ新政策が後退しているといわれ

ているが、ケネディ声明は単純なものでなく

沖縄援助に関する日米協調、沖縄の

民生の向上等、6、7項目からなるもので

ある。その中、琉球政府に対する権限の

移譲、不必要な自由の統制撤廃等、所謂

自治権拡大に関する項目の履行が

おもしろくなかったことは事実であるが、

その外の項目でうたわれた政策が

相当の前進を示しているということは疑いの

余地はない。その点、新井務官の沖縄

における発言は、日米との協力の緊密化、

特に協議、技術両委員会の活用および

ケネディ新政策の推進という点で、

私が従来から主張してきた所に完全

に一致しており、心強く思っている。

ケネディ新政策の推進については、

外務省としても、米国の~~軍~~^折衝の面

今後とも御協力を御願いたい。

外務大臣 — (A) 政府としては、高次
の目標として、施政権返還を推進^進すべき^レ
は勿論であるが、さしあたりは、ケネディ
声明に則つた自治権拡大を目標
とすべきであるといふことはワトソン
高等弁務官も先日の会談の際、申
しのべたことである。この目標
を達成するためには、アメリカ側が安心
する方向^で ~~進む~~ 進めないと
いけないので、この真意留意の上、
しかるべく、船をとり行っていただきたい。

自治権拡大といつても、結局は、何々の具体
的の問題について高等弁務官がどういふ
態度をとるかによるか大きいと思
ふ、新弁務官はどうかあるか。
主席 (笑) — 前より悪くなることはな
いと思う。
大臣 — 今、命づけられた、これ良以
のようにようけた。
主席 — 前の中野英弁務官も決り悪い
人ではなかった。正直すぎる位 ^で 正直な人

良い人であるが、^た富士山の頂上へ、いきなり、210

180度あげたような直情径行的な所が、~~あり~~

お坊っちゃんであったといふ^とか、欠片であった。

キヤラウエは、独りで何事もやらないと承知

しない人で、下級兵の人事の^とま^の口を去す

113のような所があった。

大臣 —— 戦争前、石原將軍は東条さんと仲が

悪かった。^{今の話で}石原將軍が^{とモ一時的にい}参謀副長~~であった~~
(当時滿州軍参謀長であった東条不死のため、参謀長と)

毎日、登壇をしておるので、人が少い事ではない

か、113の所、東^条は下足番のおこなった

やりの^とから、小じいのはあり、おこなった

ニを思い出した。要はやり方であると思ふ。

主席 —— 自分は協議、技術兩委員会が充分操

能を果せるようにする^とが重要な^と思ふので、外

務省も^のため努力願いたい。

来年度の日本からの沖縄援助予算に對する

要求は^{琉球政府では}なんと大きく1,500万ドル程度とす

る案を考えている。^と今までの援助の

やり方をみ^て113と「ピックアップ方式」で

その都度^{青葉}を^はるようなやり方をし^てお

体系的な所がなかった。^{ニを合理化}

おため、たゞは、沖縄は日本の一部として

113^エとして、国土保全、治水等の分野は日本が

治安という分野は米国が、^{これ}援助

すると113^エとして「分担方式」も考えられるので

はなから3か。 ^{二の}実は協議委

員会でも是非検討していただきたい。

沖縄からは相当数の移住者が海外に出

て^{あり}~~いる~~、旅券関係等であまりな所や、

困難な事が多いか、外務省、在外公館に

沖縄移住者の保護については、113^エ

御配慮いただき感謝いたします。

アメリカ局長 — 沖縄からの移住者は従来から

~~呼~~^寄せ移民のみでなく、本土からの集団移

住に乘せることを考えており、^{これが主たる}今後 我国の

保護は一層徹底すると思ふ。

大臣 — 我国は労働力不足となつており

沖縄から本土への労働力移入を歓迎する。

主席 — 本土からの求人は中学卒業程度

を求めるものが多いためあり、求人数の

半程度しか存在せぬ状況である。

沖縄の経済は戦後確かに発展したが、

外に基礎施設の発展あり。経済の根が深い

ニシカ最大のなやみである。

外務局長 —— 沖縄の政界では主席公選制度の

採用については、盛にいわれつつあるが

公選制度を採用すると一部の煽動家が主席

に選ばれるという心配はないか。

主席 —— 我々としても、主席公選が望ましいと

いふことは一応の看板として、掲げざるをえない。

しかし、ハワイでも淮州の時代には、知事

は公選になかった関係もあり、主席公選は

むづかしいと思う。又公選制度の

採用だけ問題解決しない。むしろ、

自分としては、問題は責任の所在を明らかにす

るべきであると思う。たとえば、高等学官

~~事務~~の調整や、或は事務調整における行政

府の行政に干渉するとはやめよう。

ニシカやり方が施政権者として認められな

いという場合には、正々堂々と拒否権を

使うなり、布令を出すなりして貰いたい。

布令の濫発というニシカ問題もなっているが、

布令の数は一昨年27、昨年17、今年13。

と11)より¹⁵ 実際には減少の傾向にある。

問題は布令の濫発と11)より、実は高等
警官の意思^三であるが、主席自身の意思であるか
~~表面に出~~
如く~~考~~ざるをえない現在の制度であると思ふ。

二の英、事前調整の整理をはかるため、行政

事項^を (一) 事前調整を要するもの (二) 口頭連絡
で足りるもの (三) 何らの連絡を要しないもの。

の3つのカテゴリーに分けること、高等警官府、
民政府、及び琉球政府の3者の事務レベル
で合意したが、キアラウエイ高等警官がこれを
拒否して駄目になった。

自治権の拡大をはばんでおるのは、主席の

他命制よりも事前調整と高等警官の書
簡政治だと思ふ。 今後は高等警官の

書簡は単なる忠告であり、必ずしもこれに
従はなくてはならないものとする^{了解}とした。

高等警官はこれらの措置がその方針に合致
する時は正々堂々と布令を出せばいいのである。

私のことを「イエスマン」と11)人があるが、

内情を申上げれば、米側当局と、さかんに

やりあつて激論して居るのであるが、5)11)は

事情をざくばりに、外部に洩すと、^(あ)その後

米側が相手になくなるので、これを公表するよ
うなことはしていないよなわけである。

主席の立法院による指名制度は自分が獲得し

たものであるが、その際、その運用にまで思いがいた

らず、そのため立法院の指名権と高等

弁務官の任命権の関係があいまいにされ

ていることが混乱の一因だと考えている。

単なる^権指名のみでなく解散権と不信任権

を兼ね備えるようにすれば現在の弊害が

なくなる。その場合は公選制度よりも実質的

に自治権の拡大に存すると思ふ。公選制度

を採用すれば、反つて米側に締め付けられることになる
と思ふ。

アメリカ局長 —— 現在の所謂、~~現~~ 政情

^{（如何に收拾されるか）}
混乱^{（如何に收拾されるか）}について主席の御見解を承知したい。

主席 —— 自民党脱退の議員は、議会在

閉会したのを機会に、一人一人とほうく

復党して政局は平静に帰るものと期

待している。その際、背後に野党の

督戦隊が機関銃を叩き、叩き返す

るような状態で暫く時間がかかるとある。

議員はいろいろ景気の良い非難決議をし、

主席に強くあたるが、高学升管官には直接

~~会~~ ~~合~~ ~~を~~ ~~な~~ ~~い~~ ~~状~~ ~~況~~ ~~で~~、今後は各議員が高

学升管官と大いに意見を戦わすような気

概を持って欲しいと思う。

最後に、一フマイク口回線の二つ問題

も
した。

二のマイク口回線施設はもとより、日本

から沖縄への~~贈~~り物であった。

二の~~趣~~旨を分収率問題の解決にも生

かしていった方がいい。 今の日本側の案

は1年間の試験期間中、分収率を50%と

とすべきというところから、必要なデータも

1年間で十分~~集~~まるといって、1年間はいいか

短いと思う。我々の方は試験期間を一応

5年にするといっているが、これを2年でも

つづけるというわけではないので、合理的

な線に解決するよう外務省の御口添え

いただきたい。

(以上)

11/17
11/18

権名大臣の松岡主席との
会談用メモ。

39.11.17
米、北

1. 本日はわざわざ御来訪を
いただきに御礼を申し上げます。

大田主席の後任として、今般
琉球政社行政主席に

御就任され、御祝を申し
上げます。

→ 時局多端の折柄、御苦勞
に存じます。御自愛を祈り、

2. ^{何かがあれば} (適宜大臣より御後向
新しい事項)

(1) 最近の沖縄の政情如何、
政情安定のため保安
合同の見込はどうか。

(2) 自治権拡大問題の現状
如何。

(3) 住民が現在最も欲し
けることは何か。
民生の向上か、自治権の拡大か。

~~(4) 高等義務教育の漸次
布令を琉球政社の~~

(4) 新高等公務官の施政は、従来
に比し、~~気分的に~~ ~~明瞭な~~ ようであるが
住居一般は ~~どのよう~~ ~~感じ~~ ~~しているか~~
~~受取~~ ~~ているか~~

立法の委譲方針の如
く受けられる。

また、~~この~~ 借債の傾向と思わ
れるが、一般住居は ~~どの~~

感じているか。

3. 備考

(1) 滞在期間 11月17日 - 11月24日

(2) 松岡氏署下 68才

ハワイ大校卒、南カリフォルニア大工学部

職歴、神戶製糖工場長、松本環状

政社工務部長、現在松岡配電社長